

9:10~10:40 シンポジウム 1

「日本サルコペニア・フレイル学会合同シンポジウム」

座長：荒井 秀典（国立長寿医療研究センター）

櫻井 孝（国立長寿医療研究センター）

- S1-1 フレイルと栄養、認知機能低下と栄養との関連：
地域住民コホートでの知見に基づく高齢期に目指したい食事
大塚 礼（国立長寿医療研究センター 研究所 老化疫学研究部）
- S1-2 運動とフレイル・認知機能
山田 実（筑波大学）
- S1-3 エビデンスに基づく認知症予防の社会実装
櫻井 孝（国立長寿医療研究センター）
- S1-4 認知症予防の取り組み～とっとり方式認知症予防プログラムの開発と普及～
浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科認知症予防学講座）

10:50~12:20 シンポジウム 5

「日本脳血管・認知症学会合同シンポジウム：MCI 診療アップデート」

座長：浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科認知症予防学講座）

池田 佳生（群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学）

- S5-1 MCI と認知症の診断のポイント
杉江 和馬（奈良県立医科大学 脳神経内科）
- S5-2 脳小血管病と MCI
薬師寺 祐介（関西医科大学 医学部 神経内科学講座）
- S5-3 J-MINT の知見から考えられる MCI マネジメント
内田 一彰（国立長寿医療研究センター 予防科学研究部）
- S5-4 プレクリニカル期と MCI に対する治療研究
森原 隆太（岡山大学病院 脳神経内科）

12:30~13:20 ランチョンセミナー 1

「アミロイド PET から考えるこれからの認知症診療～展望と課題～」

座長：岩田 淳（東京都健康長寿医療センター 脳神経内科）

演者：飯塚 友道（公益財団法人結核予防会 複十字病院 認知症疾患医療センター）

共催：日本メジフィジックス株式会社

13:30~14:00 大会長講演

「認知症を取り巻く現状を正しく理解する」

座長：浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科認知症予防学講座）

演者：鈴木 正彦（東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座）

14:00~14:30

理事長講演

「新たなステージを迎えた認知症医療における
日本認知症予防学会の果たすべき役割」

座長：池田 佳生（群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学）
演者：浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科認知症予防学講座）

14:40~15:30

特別講演 1

「認知症の人の場合のアドバンス・ケア・プランニング(ACP)について考えてみた」

座長：内門 大丈（医療法人社団彰耀会 メモリーケアクリニック湘南）
演者：繁田 雅弘（栄樹庵診療所）

15:40~17:20

口演 1 「軽度認知障害 (MCI)、アルツハイマー型認知症」

座長：杉江 和馬（奈良県立医科大学 脳神経内科）
櫻井 孝（国立長寿医療研究センター）
評価委員：高橋 純子（北上済生会病院 脳神経内科）

01-1 一般高齢者の認知機能評価ツールとしての SAMS の有用性

古和 久朋¹⁾、熊谷 諒子¹⁾、沖 侑大郎¹⁾、今村 美貴²⁾、鈴木 悠加²⁾、荻田 典生³⁾
1)神戸大学 大学院保健学研究科、2)オムロンヘルスケア株式会社、3)脳神経内科くすのき診療所

01-2 正常認知機能から軽度認知障害における
血中トランスサイレチンレベルの推移について

中村 美砂、今岡 真和、田崎 史江、肥田 光正、今井 亮太、久保 峰鳴、堺 景子、武田 雅俊
大阪河崎リハビリテーション大学 リハビリテーション研究科

01-3 認知機能セルフチェッカーを用いた MCI の早期発見

高橋 壮¹⁾、児玉 直樹²⁾
1)新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 保健学専攻 放射線情報学分野、
2)新潟医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線学科

01-4 軽度認知障害 (MCI) の疑いがある高齢者の主観的時間評価
— 1時間作成課題と言語評価課題を用いた検討 —

山城 大地、小川 将、雛倉 圭吾、吉越 駿、桜井 良太、小林 キミ、松永 博子、鈴木 宏幸
東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加とヘルシーエイジング研究チーム

01-5 記憶の変化に対する知識は、活動能力を媒介して精神的健康に影響する

高橋 佳史¹⁾、山城 大地¹⁾、佐藤 研一郎¹⁾、清水 佑輔^{1,2)}、李 岩¹⁾、土谷 利仁¹⁾、小川 将¹⁾、
高橋 知也¹⁾、鈴木 宏幸¹⁾
1)東京都健康長寿医療センター研究所、2)日本学術振興会

01-6 AD 根治のための薬物送達キャリア「コレステロール末端修飾 PEG」の
Aβ 凝集阻害による予防薬としての機能評価

渡邊 捷太、朝山 章一郎
東京都立大学 大学院都市環境科学研究科 環境応用化学域

01-7 iPS 細胞由来神経細胞とアストロサイトの共培養系を用いた、
アルツハイマー病の表現型解析

Sopak Supakul¹⁾、岡野 栄之^{1,2)}
1)藤田医科大学 精神・神経病態解明センター 神経再生・創薬研究部門、2)慶應義塾大学再生医療リサーチセンター

01-8 アルツハイマー病モデルマウスにおける Aβ 蓄積による骨格筋への影響

中井 剛²⁾、浦野 友哉³⁾、齊藤 貴志⁴⁾、笹栗 弘貴⁵⁾、西道 隆臣⁶⁾、山田 成樹¹⁾、山田 清文²⁾、
渡辺 宏久⁷⁾、山中 宏二⁸⁾、榎本 篤³⁾、溝口 博之²⁾
1)藤田医科大学 医学部 薬物治療情報学、2)名古屋大学大学院医学系研究科 医療薬学、
3)名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍病理学、4)名古屋市立大学大学院医学研究科 脳神経科学研究所 認知症科学分野、
5)理化学研究所 脳神経科学研究センター 認知症病態連携研究ユニット、
6)理化学研究所 脳神経科学研究センター 神経老化制御研究チーム、7)藤田医科大学 医学部 脳神経内科学、
8)名古屋大学 環境医学研究所 病態神経科学分野

- 01-9 アルツハイマー型認知症進行におけるサルコペニアの影響と
構造的・機能的MRI変化
櫻井 俊海¹⁾、梶山 裕太²⁾、青島 明里¹⁾、樋口 響¹⁾、政岡 幸樹²⁾、久徳 弓子²⁾、三原 雅史²⁾
1)川崎医科大学医学部医学科、2)川崎医科大学 神経内科
- 01-10 MCI および軽度認知症患者の臨床的特徴からアミロイドの存在を予測する
久徳 弓子、三原 雅史
川崎医科大学 神経内科学

第2会場 3F G303

- 9:10~9:50 教育講演 1
「進行期認知症に対するリハビリテーション・ケア」
座長：國枝 洋太（順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター
リハビリテーション科）
演者：田中 寛之（大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科）
- 10:00~10:40 教育講演 2
「『耳からはじめる認知症予防への取り組み』難聴の早期発見とヒアリングフレイル予防」
座長：荒川 千晶（医療法人社団礼恵会 むすび葉クリニック渋谷）
演者：中石 真一路（ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社 聴脳科学総合研究所/
国際医療福祉大学大学院）
- 10:50~11:30 教育講演 3
「認知症の人と家族の生き方支援～本人・家族と専門職の視点から～」
座長：杉山 美香（東京都健康長寿医療センター研究所）
演者：高澤 留美子（日本の介護株式会社）
- 11:40~12:20 教育講演 4
「フレイルとは」
座長：辻 正純（辻内科循環器科歯科クリニック）
演者：櫻井 博文（青梅慶友病院/東京医科大学高齢総合医学分野）
- 12:30~13:20 ランチョンセミナー 2
「認知症の予防と早期介入」
座長：浦上 克哉（鳥取大学 医学部 保健学科 認知症予防学講座）
演者：児玉 直樹（新潟医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線学科）
- 共催：東和薬品株式会社

15:40~17:10

口演 2 「認知症予防と運動」

座長：松熊 美千代（三井記念病院 臨床検査部）
當山 房子（（有）福祉ネットワーク・やえやま）
評価委員：作本 修一（さくもとクリニック）

O2-1 地域高齢者の健康意識に沿った認知症予防プログラムの構築

日吉 眞理子¹⁾、鈴里 優季²⁾
1)NPO法人 健康づくり研究会、2)日南市役所 地域包括ケア推進係

O2-2 認知症予防に繋がるスモールジムの運動方法

菅原 利之
スモールジム

O2-3 自室に閉じこもりの方が訪問リハビリ介入により活動範囲の拡大に繋がった 1 例

野々下 有希¹⁾、内田 泰史²⁾、森 純一¹⁾、森 雅史¹⁾、藤原 由紀¹⁾
1)医療法人 恕泉会 内田脳神経外科 リハビリテーション科、2)医療法人 恕泉会 内田脳神経外科

O2-4 もの忘れ外来において運動習慣の有無が安静時脳活動に与える影響

深沢 敬亮¹⁾、保子 英之^{2,3)}、小林 桃子³⁾、柴宮 溪太³⁾、市川 小百合¹⁾、平田 容子⁴⁾、嶋原 良仁^{2,3)}
1)熊谷総合病院 臨床検査科、2)北斗病院 精密医療センター、3)熊谷総合病院 精密医療センター、
4)熊谷総合病院 脳神経外科

O2-5 通所リハビリテーションでの集団体操における多職種連携

～運動と認知課題と音楽を合わせた活動の効果～
雫 裕子、内田 泰史、北川 純平、山中 康太、柿本 香菜、田中 聖二、鈴木 芽衣
医療法人 恕泉会 介護老人保健施設 ピアハウス高知

O2-6 デイサービスにおけるレクリエーションとしての 泉大津市オリジナル認知症予防ダンスの効果

宮崎 敦子¹⁾、植木 佳緒里²⁾、檜山 敦³⁾
1)東京大学 先端科学技術研究センター 身体情報学分野、
2)TOPPAN株式会社 生活・産業事業本部 環境デザイン事業部、
3)一橋大学 大学院 ソーシャル・データサイエンス研究科

O2-7 メモリービフィズス菌を用いた MCI に対する運動療法（コグトレ）

辻 正純¹⁾、中村 大祐¹⁾、下野 智弘²⁾
1)辻内科循環器科歯科クリニック、2)株式会社クリニコ（森永乳業グループ）

O2-8 軽度認知障害をもつ地域在住高齢者に対する e スポーツの効果

林 博史²⁾、曾根 稔雅¹⁾、五百川 和明¹⁾、澄川 幸志¹⁾、藤田 貴昭¹⁾、浅尾 章彦¹⁾、川崎 伊織¹⁾、
川又 寛徳¹⁾、小笠原 牧¹⁾、松本 大典¹⁾、川勝 忍²⁾
1)福島県立医科大学 保健科学部 作業療法学科、2)福島県立医科大学 会津医療センター 精神医学講座

O2-9 「ハートフルコグニダンス」で「認知症予防」を急ぐ

利根川 久女紅¹⁾、五月女 美幸¹⁾、尾崎 仁美¹⁾、小川 八重子¹⁾、助信 奈穂子¹⁾、福岡 かをり¹⁾、
中村 佳代¹⁾、利根川 浩一¹⁾、堀 愼二²⁾、阿部 康二³⁾、菱川 望⁴⁾、富永 典子⁵⁾、上野 豊治⁵⁾、
久波 真知子⁵⁾
1)利根川Kスタジオ、2)S&Hpro、3)BTRアーツ銀座クリニック、4)倉敷平成病院、5)(株)JWI

第3会場 3F G302

9:10~10:40

シンポジウム 2

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法～認知症予防の観点から～」

座長：内門 大丈（医療法人社団彰耀会 メモリーケアクリニック湘南）
阿瀬川 孝治（汐入メンタルクリニック）

S2-1 認知症基本法：一次予防の観点から

長田 乾（横浜総合病院）

S2-2 認知症基本法～2次予防の視点から

中根 一（帝京大学医学部附属溝口病院 脳神経外科）

- S2-3 共生社会の実現を推進するための認知症基本法；三次予防の観点から
繁田 雅弘（栄樹庵診療所）
- S2-4 認知症基本法～「認知症の人と家族の一体的支援プログラム」現場の視点から
SHIGETA ハウスプロジェクトが伝えたいこと
上原 孝介（一般社団法人栄樹庵）
- S2-5 共生社会の実現を推進するための認知症基本法について
内門 大丈（医療法人社団彰耀会 メモリーケアクリニック湘南）

10:50～12:20 シンポジウム 6

「認知症のリハビリテーションアプローチ最前線」

座長：和田 太（順天堂大学医学部附属練馬病院 リハビリテーション科）
國枝 洋太（順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター
リハビリテーション科）

- S6-1 リハビリテーション科医としてのアプローチと取り組み
大沢 愛子（国立長寿医療研究センター リハビリテーション科）
- S6-2 理学療法士からのアプローチと実践
山上 徹也（群馬大学大学院 保健学研究科）
- S6-3 日常生活機能を維持するための支援 作業療法士の視点と支援の展開
谷川 良博（令和健康科学大学 リハビリテーション学部 作業療法学科）
- S6-4 コミュニケーションの問題に対するアプローチと実践
外山 稔（東京工科大学 医療保健学部 リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻）

12:30～13:20 ランチョンセミナー 3

「運転寿命延伸プロジェクト in 宮崎」

座長：吉田 健太郎（東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座）
演者：東 健太郎（社会福祉法人莞爾会）

共催：インターリハ株式会社

15:40～17:20 口演 3 「認知症と運転、認知症と睡眠」

座長：上原 朋子（東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座）
吉田 健太郎（東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座）
評価委員：須藤 慎治（国立病院機構宇多野病院 脳神経内科）

- O3-1 高齢者ドライバーに対する運転寿命延伸のための運動介入効果に関する検討
加藤 光葉¹⁾、児玉 美幸¹⁾、小玉 鮎人^{2,3)}、中村 拓司⁴⁾、東 秀行⁵⁾、毛利 有紀子⁵⁾、田中 祐治⁵⁾、
栃木 秀典⁶⁾、大田 秀隆²⁾
1)株式会社ビーベリー、2)秋田大学高齢者医療先端研究センター、3)秋田大学大学院医学系研究科作業療法学講座、
4)TACT、5)一般財団法人 日本総合研究所、6)パシフィックコンサルタンツ株式会社
- O3-2 ペダルの踏み間違い事故と認知機能低下の研究の推進を
岩越 和紀
特定非営利活動法人 高齢者安全運転支援研究会
- O3-3 認知機能の「見える化」で職業ドライバーの運転寿命延伸を目指した取組
浅田 克子¹⁾、時野 学²⁾、横尾 則広^{2,3)}、河越 真介⁴⁾
1)八尾自動車教習所、2)株式会社ナンバメイト、3)NPO高齢者安全運転支援研究会、4)株式会社トータルブレインケア

- 03-4 「認知症の人の自動車運転免許返納ガイドライン」
日本認知症予防学会におけるガイドライン策定の要望
井手 芳彦¹⁾、堀川 悦夫²⁾、日和田 正俊¹⁾、松尾 なみき¹⁾、北島 春菜¹⁾、福田 隆浩¹⁾
1) 社会医療法人白十字会 佐世保中央病院 認知症疾患医療センター、2) 福岡国際医療福祉大学 言語聴覚学科
- 03-5 同乗者の有無による運転中の安全確認行動への影響
鈴木 美緒¹⁾、木元 大輝²⁾、並木 靖幸³⁾、平塚 喜之³⁾
1) 東海大学、2) 川崎市役所、3) NPO法人高齢者安全運転支援研究会
- 03-6 茨城県的高速道路出入口付近における高齢運転者の逆走や誤進入、
注意喚起等の安全性に関する課題の抽出及び対策案の検討
中村 拓司¹⁾、小島 謙一²⁾、久保 一成²⁾、中村 悟³⁾、稲田 竜一³⁾、鳥塚 俊洋⁴⁾、大槻 祐士⁴⁾、
小玉 鮎人⁵⁾、大田 秀隆⁵⁾
1) TACT、2) 茨城県土木部道路維持課、3) 八千代エンジニアリング株式会社、4) 株式会社JAFメディアワークス、
5) 秋田大学高齢者医療先端技術研究センター、6) 秋田大学大学院医学系研究科作業療法学講座
- 03-7 運転挙動と運動習慣および身体機能の関連性
平塚 喜之¹⁾、鈴木 美緒²⁾、並木 靖幸¹⁾
1) 特定非営利活動法人高齢者安全運転支援研究会、2) 東海大学
- 03-8 運転挙動とサポカー搭載機能の利用意向の関連性
並木 靖幸¹⁾、佐藤 寿秋²⁾、鈴木 美緒³⁾、平塚 喜之¹⁾
1) 特定非営利活動法人高齢者安全運転支援研究会、2) 元東海大学・工学部、3) 東海大学・工学部
- 03-9 閉塞性睡眠時無呼吸症候群におけるいびきと口臭の関係
土肥 敏博¹⁾、森田 克也¹⁾、讃井 真理¹⁾、前信 由美¹⁾、田村 和恵¹⁾、石川 孝則¹⁾、岩本 由美¹⁾、
新川 雅子¹⁾、平岡 正史¹⁾、柿 音高²⁾、渡部 裕之³⁾、光畑 知恵子⁴⁾、本山 直世⁵⁾
1) 広島文化学園大学看護学部、2) 啓愛クリニック耳鼻咽喉科、3) わたなべ歯科医院、
4) 広島大学大学院医系科学研究科小児歯科学、5) 山崎病院歯科
- 03-10 高齢者の睡眠呼吸障害に対する体位療法が認知機能に及ぼす効果
野田 明子¹⁾、古田 万奈¹⁾、奥田 将人²⁾、宮田 聖子³⁾、岩本 邦弘³⁾、宮崎 総一郎⁴⁾、安間 文彦⁵⁾
1) 中部大学大学院 生命健康科学研究科、2) たじみすいみんクリニック、3) 名古屋大学大学院 医学系研究科、
4) 中部大学生命健康科学研究所、5) 中部大学生命健康科学部

第4会場 3F G301

9:10~10:40 シンポジウム3

「アルツハイマー病疾患修飾薬の現状、展望、問題点」

座長：三條 伸夫（東京医科歯科大学大学院 脳神経病態学分野（脳神経内科））
和田 健二（川崎医科大学 認知症学）

- S3-1 アルツハイマー病の疾患修飾薬の効果と今後の展望
井原 涼子（東京都健康長寿医療センター 脳神経内科）
- S3-2 アルツハイマー病病理に対する疾患修飾薬の影響と問題点
岩崎 靖（愛知医科大学 加齢医科学研究所）
- S3-3 疾患修飾療法と体液バイオマーカー
徳田 隆彦（量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所 脳機能イメージング研究センター）
- S3-4 疾患修飾療法における画像バイオマーカー活用の現状と展望
島田 齊（新潟大学 脳研究所 統合脳機能研究センター 臨床機能脳神経学分野/
量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所 脳機能イメージング研究センター）

10:50~12:20 シンポジウム 7

「認知症予防としての食事・運動」

座長：牧迫 飛雄馬（鹿児島大学 医学部 保健学科）

- S7-1 脳局在診断からみた認知症 ～脳神経外科が認知症の臨床現場でできること～
海渡 信義（東京慈恵会医科大学）
- S7-2 認知症予防としての五感磨き、特に美味しいお食事の勧め
千葉 真知子（千葉真知子クッキングスタジオ）
- S7-3 フレイルおよび認知機能低下の予防と運動
牧迫 飛雄馬（鹿児島大学 医学部 保健学科）

15:40~17:30 口演 4 「認知症予防への取り組み」

座長：内門 大丈（医療法人社団彰耀会 メモリーケアクリニック湘南）

深澤 恵治（一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会）

評価委員：大田 秀隆（秋田大学高齢者医療先端研究センター）

- O4-1 ニューロフィードバック脳トレの認知機能向上効果の検討
糸藤 友子、川島 隆太、星野 剛史
株式会社NeU
- O4-2 認知症進行予防デイケア参加者の認知機能及び身体機能の変化
藤澤 多喜子、豊岡 達郎、谷 文乃
医療法人重仁会 大谷地病院
- O4-3 スライドパズルによる脳血流量の変化および認知症予防の可能性
佐々木 啓、櫻井 典子、児玉 直樹
新潟医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線学科
- O4-4 これからの介護予防について考える
～＜東山町一組 いきいき元気脳活教室＞活動報告～
山口 愛恵¹⁾、北島 春菜²⁾
1) 佐世保市山澄地域包括支援センター、2) 社会医療法人財団白十字会 耀光リハビリテーション病院
- O4-5 地域における意味付けされた脳活教室の実施に向けて
—他の地域活動への波及効果—
北島 春菜¹⁾、山口 愛恵²⁾
1) 社会医療法人財団白十字会 耀光リハビリテーション病院、2) 佐世保市山澄包括支援センター
- O4-6 地域在住高齢者に対する演劇的手法を用いた介入効果に関する研究
小玉 鮎人¹⁾²⁾、渡辺 信子³⁾、小澤 ひとみ³⁾、今村 晋介³⁾、梅津 葉子⁴⁾、佐藤 学⁴⁾、大田 秀隆¹⁾
1) 秋田大学高齢者医療先端研究センター、2) 秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻作業療法学講座、
3) 一般社団法人わらび座、4) 横手市地域包括支援センター
- O4-7 患者・家族向けの認知症予防プログラムを実践しての実態調査
～参加者のアンケート調査より～
堀田 牧代、木村 亜紀子、宇和 典子、武田 正中
兵庫医科大学病院 認知症疾患医療センター
- O4-8 生き生き脳活倶楽部での脳活プログラムの効果
本多 慶吉¹⁾、瀬藤 尚文²⁾、立花 由紀子³⁾
1) NPO生き生き元気塾、2) 社会福祉法人奉優会 城東ふれあいセンター、
3) 社会福祉法人奉優会 いきがい活動センター 『きらりあ北』
- O4-9 通所リハビリテーションにおける軽度認知障害に対する認知症予防の取り組み
坂本 千尋¹⁾²⁾³⁾、中見 光²⁾、高尾 芳樹³⁾
1) 社会医療法人全仁会 倉敷老健通所リハビリ、2) 社会医療法人全仁会 倉敷平成病院 予防リハビリ、
3) 社会医療法人全仁会 倉敷平成病院 脳神経内科

- 04-10 軽度認知障害におけるニンテストの有用性
平田 尚士、古橋 淳夫
医療法人 古橋会 揖保川病院
- 04-11 秋田県横手市でのシニアミュージカルによる認知症予防についての取り組み
梅津 葉子¹⁾、高橋 智子¹⁾、佐藤 学¹⁾、戸田 桂子¹⁾、わたなべ のぶこ²⁾、小澤 瞳²⁾、小玉 鮎人³⁾、
大田 秀隆⁴⁾
1)横手市役所 市民福祉部 地域包括支援センター、2)一般社団法人わらび座、3)秋田大学保健学科作業療法学講座、
4)秋田大学高齢者医療先端研究センター

第5会場 3F G314+G315

9:10~10:40 シンポジウム 4

「住み慣れた地域で暮らす上で薬剤師が関わる取組の方向性」

座長：有澤 賢二（一般社団法人 北海道薬剤師会）

- S4-1 認知症基本法を読み解き令和6年度調剤報酬改定から薬局のあるべき姿を考える
山田 武志（公益社団法人日本薬剤師会）
- S4-2 進化する多職種連携における実際の取組
宮野 廣美（一般社団法人 埼玉県薬剤師会）
- S4-3 地域住民、医療・介護等他職種で作り上げるコミュニティの実際
宇野 雅樹（一般社団法人 北海道薬剤師会/有限会社 イナガミ薬局）

10:50~12:20 シンポジウム 8

「森林環境の認知症予防効果を考える」

座長：西野 憲史（医療法人ふらて会 西野病院）

住友 和弘（東北医科薬科大学若林病院 総合診療科）

- S8-1 森林空間の活用に関する地域と企業等の取組
諏訪 幹夫（林野庁）
- S8-2 緑地と認知機能の関連性に関するシステムティック・レビュー
大津 唯（埼玉大学 大学院人文社会科学部研究科）
- S8-3 森林環境下での認知症予防プログラムの提案
郡司 聖（大阪河崎リハビリテーション大学 大学院 リハビリテーション研究科）
- S8-4 日本国内における森林率と認知機能についての調査結果の中間報告
有馬 遥太郎（東北医科薬科大学若林病院・薬剤部/
東北医科薬科大学大学院医学研究科・老年地域医療学教室）

15:40~17:20 口演 5 「共生社会実現へ向けた人材育成、啓発、地域活動」

座長：山本 泰司（神戸大学インクルーシブキャンパス&ヘルスケアセンター
保健管理部門）

川井 元晴（脳神経筋センターよしみず病院）

評価委員：藤野 孝雄（藤野循環器科内科医院）

- O5-1 認知症予防フレンド養成講座の受講生の特徴と認知症予防専門士の役割
山川 直樹、下山 直登
医療法人好縁会 下山記念クリニック

- 05-2 地域密着型中核病院の認知症看護認定看護師が認知症ケアチームの発足から専従になるまでの取り組みと成果
高橋 鉄平¹⁾、上野 真生¹⁾、牧 俊之¹⁾、真田 康孝¹⁾、安東 直美¹⁾、安高 拓弥¹⁾、衛藤 健志¹⁾、藤野 孝雄²⁾、木村 成志³⁾
1)白杵市医師会立コスモス病院、2)藤野循環器科内科医院、3)大分大学医学部 神経内科学講座
- 05-3 認知症サポーター養成に関わる現状と課題への取り組み
加賀野井 博美¹⁾、内田 泰史²⁾
1)医療法人恕泉会・治久会 リハビリテーション部、2)医療法人恕泉会 内田脳神経外科
- 05-4 看護職員の認知症患者への対応能力向上に向けて～継続教育の考察～
有働 麗、西野 憲史
医療法人ふらて会 西野病院
- 05-5 地域の認知症予防ボランティアと大学生による小学生への認知症学習の在り方と効果
中道 淳子¹⁾、宮本 菜々恵²⁾、大橋 史弥¹⁾、近藤 考朗¹⁾、今井 秀樹¹⁾
1)石川県立看護大学、2)金城大学
- 05-6 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」からみる認知症への取り組みについて
安藤 隆文¹⁾、衛藤 和子¹⁾、東 由佳子¹⁾、吉良 沙紀¹⁾、小野 未架²⁾、藤澤 沙樹²⁾
1)白杵市 高齢者支援課、2)白杵市医師会 地域包括支援センターコスモス
- 05-7 園芸作業交流会による認知症啓発と共生の場づくりの試み～私の「苦手」をあなたの「得意」で補って～
麥生田 才子¹⁾、小川 広美²⁾、小吉 昭弘²⁾、迫 重美²⁾、川崎 里栄²⁾、小川 真美²⁾、今熊 千和子²⁾、馬場 みよ子²⁾、桜木 希¹⁾、今隈 満¹⁾
1)肝属郡医師会立病院、2)錦江町認知症フレンドリーコミュニティ推進チーム
- 05-8 認知症の方への声かけ模擬訓練の結果をもとにした、全世代の方への普及啓発の実践と工夫
小野 未架¹⁾、藤澤 沙樹¹⁾、安藤 隆文²⁾、衛藤 和子²⁾、東 由佳子²⁾、吉良 沙紀²⁾
1)白杵市医師会地域包括支援センターコスモス、2)白杵市高齢者支援課
- 05-9 地域住民に対して認知症カフェ参加における認知症理解の変化について
岡藤 農¹⁾、松永 尚治²⁾
1)医療法人 松永会 まつなが医院 リハビリテーション科、2)医療法人 松永会 まつなが医院 内科
- 05-10 認知症予防プログラムの実践報告—手話歌をプログラムに取り入れた効果—
松野 敦子¹²⁾
1)帝京平成大学 ヒューマンケア学部 看護学科、2)医療法人社団伊豆七海会 熱海所記念病院 看護部

第6会場 3F G316+G317

- 9:10～10:10 スポンサーセミナー
「生成 AI と共に考える認知症予防」
座長：西野 憲史（医療法人ふらて会 西野病院）
演者：守山 正樹（NPO ウェルビーイング附属研究所）
共催：医療法人ふらて会 西野病院
- 10:50～12:20 シンポジウム 9
「データにもとづく実車運転評価による運転者再教育の効果の検討」
座長：堀川 悦夫（福岡国際医療福祉大学 医療学部 言語聴覚学科）
井手 芳彦（社会医療法人白十字会 佐世保中央病院 認知症疾患医療センター）
- S9-1 運転免許保有者を対象にした行動観察に基づく実車評価と実車指導
岩城 直幸（水原自動車学校）

- S9-2 装着型センサを用いた運転挙動計測及び解析結果に基づく再教育の実践
瀬川 誠 (株式会社山城自動車教習所)
- S9-3 地域高齢ドライバー講習の運転評価からの検討～安全運転寿命延伸への取組～
浅田 克子 (八尾自動車教習所)
- S9-4 高齢者ドライバーの安全性向上と運転評価：高齢者講習の調査から見えた課題
坂本 真一郎 (株式会社オフサポート)

14:30～15:30 ダンスプログラム
「ダンス療法「ハートフル・コグニダンス」」
講師：利根川 久女紅 (利根川 K スタジオ)

ポスター会場 3F G320

15:40～16:40 ポスター 1 「軽度認知障害、若年性認知症」
座 長：阪井 一雄 (神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 作業療法学科)
評価委員：赤津 裕康 (国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
ロコモフレイルセンター)

P1-1 当科通院中の MCI における脳血管障害の危険因子の影響についての検討
笠原 浩生、池田 佳生
群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学

P1-2 地域在住高齢者における軽度認知障害のスクリーニングに関する検討
六倉 悠貴¹⁾、坂本 晴美^{1,3)}、谷口 圭佑^{2,3)}、巻 直樹^{2,3)}、岩本 記一^{1,3)}、石上 聖子^{1,3)}、呉 世禎^{2,3)}、
柳 久子^{2,3)}
1)アール医療専門職大学 リハビリテーション学部 作業療法学科、
2)アール医療専門職大学 リハビリテーション学部 理学療法学科、3)アール医療専門職大学 人間創成地域研究センター

P1-3 軽度認知障害の血管性危険因子や身体的フレイルと CDR Sum of Boxes との関連
高橋 怜真、笠原 浩生、中村 琢洋、池田 佳生
群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学

P1-4 MCI (軽度認知障害) と診断された人の受診に至るまでのプロセスの可視化
木村 亜紀子¹⁾、杉山 京²⁾、桐野 匡史³⁾、堀田 牧代¹⁾、武田 正中¹⁾、宇和 典子¹⁾、竹本 与志人³⁾
1)兵庫医科大学病院 認知症疾患医療センター、2)大阪公立大学大学院、3)岡山県立大学

P1-5 若年性認知症の診断を転機に本人・家族に生じた経済問題の一例
杉山 京¹⁾、竹本 与志人^{1,2)}
1)大阪公立大学大学院 生活科学研究科、2)岡山県立大学 保健福祉学部

P1-6 若年性認知症者の就労に関わる相談対応者に関する実態と展望
新山 真奈美¹⁾、夏梅 るい子²⁾
1)東京医療保健大学 東が丘看護学部、2)福井大学

15:40～16:40 ポスター 2 「認知症関連疾患、認知症と身体障害」
座 長：小西 吉裕 (国立病院機構鳥取医療センター)
評価委員：成瀬 聡 (総合リハビリテーションセンター・みどり病院)

P2-1 幻視・妄想で保護室を使用していたレビー小体型認知症患者への睡眠環境調整の効果
佐藤 美佐江¹⁾、門脇 敏子²⁾、細田 恵子¹⁾
1)蓮田よつば病院、2)伊奈病院

- P2-2 表層性失読の症状を呈したビタミンB12欠乏症の1例
遠藤 雄司、遠藤 勝洋、中嶋 伸太郎、石川 敏仁、佐藤 直樹、太田 守
杵記念病院 脳神経外科
- P2-3 早期神経梅毒の治療指標の検討
武久 康¹⁾、川口 洋子¹⁾、光井 聖子²⁾、山口 麻里²⁾、横山 恵美²⁾、堂垣 奈津香³⁾、小川 さおり³⁾
1)岡山赤十字病院 脳神経内科、2)岡山赤十字病院 皮膚科、3)岡山赤十字病院 リハビリテーション科
- P2-4 地域在住身体障がい者の基本チェックリストを用いた
フレイルと認知機能の実態調査
谷口 圭佑¹⁾、坂本 晴美²⁾、巻 直樹¹⁾、六倉 悠貴²⁾、岩本 記一¹⁾、呉 世禎¹⁾
1)アール医療専門職大学 リハビリテーション学部 理学療法学科、
2)アール医療専門職大学 リハビリテーション学部 作業療法学科
- P2-5 地域に在住している身体障がい者の基本チェックリストを用いた
認知機能・精神機能に影響する要因の検討
坂本 晴美^{1,3)}、谷口 圭佑^{2,3)}、巻 直樹^{2,3)}、六倉 悠貴^{1,3)}、石上 聖子^{1,3)}、岩本 記一^{1,3)}、呉 世禎^{1,2)}、
柳 久子^{1,2)}
1)アール医療専門職大学 リハビリテーション学部 作業療法学科、
2)アール医療専門職大学 リハビリテーション学部 理学療法学科、3)アール医療専門職大学 人間創成地域研究センター
- P2-6 Chol-CM-PVIm を用いた LLPS 制御による Tau 凝集抑制効果の検証
梶原 優太郎、朝山 章一郎
東京都立大学 都市環境学部 環境応用化学科

8:40~10:10 シンポジウム 10

「日本認知症ケア学会合同シンポジウム：認知症との向き合い方」

座長：繁田 雅弘（栄樹庵診療所）

奥山 恵理子（株式会社浜松人間科学研究所）

S10-1 認知症の支援の際に私たちが抱きやすい先入観

繁田 雅弘（栄樹庵診療所）

S10-2 認知症の人に向き合う意義

鈴木 みずえ（浜松医科大学臨床看護学講座）

S10-3 認知症のひとにいかに向き合うか？食べたい気持ちを考える～歯科と多職種連携～

上原 孝介（株式会社 松井ライフプロデュース）

S10-4 生活の中の様々なことがらを本人と一緒に考える

升山 弘子（医療法人圓生会松本診療所）

S10-5 外国人介護者の役割の大切さとその支援

亀割 貴志（株式会社スマイル）

10:20~11:50 口演 6 「認知症関連疾患、認知症と COVID-19」

座長：三品 雅洋（独立行政法人労働者健康安全機構 東京労災病院）

内田 泰史（医療法人恕泉会 内田脳神経外科）

評価委員：菱川 望（倉敷平成病院 脳神経内科）

O6-1 髄液減少症に伴う認知障害

高橋 浩一

山王病院 脳神経外科

O6-2 腰椎腹腔短絡術の術後経過で髄液過剰排出に伴い

自律神経失調症を呈したと考えられる一例

厚地 正道¹⁾、町田 明理¹⁾、久保 文克¹⁾、永山 哲也¹⁾、厚地 正子²⁾

1)厚地脳神経外科病院、2)あつち葛飾クリニック

O6-3 筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群の静脈血液ガス所見の特徴

平井 利明¹⁾、黒岩 義之¹⁾、鈴木 可奈子¹⁾、中根 一²⁾、馬場 泰尚¹⁾

1)帝京大学医学部附属溝口病院 脳神経内科・脳卒中センター、2)帝京大学医学部附属溝口病院 脳神経外科

O6-4 ウェルニッケ・コルサコフ症候群となった独居の患者が自宅退院可能となった一例

上原 朋子^{1,2)}、高木 聡^{1,2)}、安保 雅博²⁾

1)河野臨牀医学研究所附属 品川リハビリテーション病院、2)東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座

O6-5 早発性アルツハイマー型認知症者における認知機能の特徴

安田 万里子¹⁾、谷 英俊¹⁾、赤松 祐美¹⁾、久徳 弓子²⁾、三原 雅史²⁾、金島 由佳³⁾、中畑 海咲³⁾

1)川崎医科大学附属病院 臨床心理センター、2)川崎医科大学神経内科学、3)川崎医科大学附属病院 患者診療支援センター

O6-6 アルツハイマー型認知症の一次予防に対する意識調査

～一般市民を対象とした質問紙調査結果の一考察～

網本 圭志、直江 貢、國友 一史、山上 圭、山上 敦子

医療法人久仁会 鳴門山上病院

O6-7 新型コロナウイルス感染症罹患後に新規に認知機能障害を発症した患者の3年の経過について

縣 樹生^{1,2)}、鄭 健錫^{1,2)}、吉田 健太郎²⁾、安保 雅博²⁾

1)医療法人雄心会 青森新都市病院 リハビリテーション科、2)東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座

O6-8 コロナ禍における活動制限が高齢者の認知機能に与える影響について

長山 あゆみ¹⁾、渡嘉敷 崇²⁾、波平 幸裕³⁾、石田 明夫²⁾

1) 国立病院機構沖繩病院、2) 琉球大学大学院医学研究科 循環器・腎臓・神経内科学講座

O6-9 COVID-19 pandemic が基本チェックリストの認知機能項目に及ぼす影響

寺田 侑真^{1,2,3)}、中北 智士^{1,2,3)}

1) 紀の川市役所 福祉部高齢介護課、2) 社会医療法人 三車会 貴志川リハビリテーション病院、

3) 畿央大学大学院健康科学研究科

12:00~12:50 ランチョンセミナー 4

「早期アルツハイマー病の新たな治療について—エリア診療連携も踏まえて—」

座長：池田 佳生（群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学）

演者：平野 成樹（千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学）

共催：エーザイ株式会社/バイオジェン・ジャパン株式会社

13:00~13:50 特別講演 2

「アルツハイマー病の疾患修飾療法の展望」

座長：鈴木 正彦（東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座）

演者：三條 伸夫（東京医科歯科大学大学院脳神経病態学分野（脳神経内科）/

九段坂病院内科（脳神経内科））

14:00~15:00 口演 10 「認知症の神経心理検査、評価法」

座長：三品 雅洋（独立行政法人労働者健康安全機構 東京労災病院）

児玉 直樹（新潟医療福祉大学 診療放射線学科）

評価委員：久徳 弓子（川崎医科大学 神経内科学）

O10-1 言語流暢性課題と運動課題遂行時の脳賦活部位

川崎 裕樹¹⁾、大石 美鈴¹⁾、佐々木 啓²⁾、櫻井 典子²⁾、児玉 直樹²⁾

1) 新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 保健学専攻 放射線情報学分野、

2) 新潟医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線学科

O10-2 認知症スティグマが生じにくい早期認知症診断—質感オノマトペ検査 (Sound Symbolic Words Texture Recognition, SSWTR) の開発

中島 円¹⁾、蒲原 千尋^{1,2)}、野崎 裕二³⁾、坂本 真樹³⁾

1) 順天堂大学医学部附属順天堂医院 脳神経外科講座、2) 順天堂大学 老人性疾患病態・治療研究センター、

3) 電気通信大学 大学院情報工学研究科情報学

O10-3 臨床検査室における神経心理検査

村上 智美、堀 瑞記、山下 愛、渡邊 五月、植田 祐介、濱口 幸司、中塚 雅雄

JA愛知厚生連 知多厚生病院

O10-4 左縁上回の脳活動と認知機能

鳴原 良仁^{1,2)}、保子 英之^{1,2)}、小林 桃子²⁾、柴宮 溪太²⁾、深沢 敬亮³⁾、市川 小百合³⁾、平田 容子⁴⁾

1) 北斗病院 精密医療センター、2) 熊谷総合病院 精密医療センター、3) 熊谷総合病院 臨床検査科、

4) 熊谷総合病院 脳神経外科

O10-5 植物由来トリゴネリンにおける in vitro 細胞評価および認知症予防機能の探索

齋藤 剛史

TOPPANホールディングス株式会社 総合研究所

O10-6 “Digital Trail Making Peg test” と認知機能との関連—多領域の認知機能に着目して—

潘 子恒¹⁾、渋谷 恭平^{2,3)}、西村 生¹⁾、永田 康喜⁴⁾、尹 之恩²⁾、根本 みゆき⁵⁾、新井 哲明⁵⁾、大藏 倫博^{2,6,7)}

1) 筑波大学大学院 体育科学学位プログラム、2) 筑波大学 体育系、3) 筑波大学大学院 パブリックヘルス学位プログラム、

4) 国立国際医療研究センター 臨床研究センター疫学・予防研究部、5) 筑波大学 医学医療系、

6) 筑波大学テラーメイドQOLプログラム開発研究センター、7) 筑波大学 国際統合睡眠医学研究機構

- 15:10~16:00 厚労省講演
「日本認知症予防学会への期待」
座長：鈴木 正彦（東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座）
演者：浅沼 一成（厚生労働省 国立保健医療科学院）
- 16:10~18:10 産業医研修会
「障害を知り社会復帰に活かす」
座長：荒川 千晶（医療法人社団礼恵会 むすび葉クリニック渋谷）
- 1 今日からできる治療と仕事の両立支援
山徳 雅人（聖マリアンナ医科大学 リハビリテーション医学講座）
 - 2 脳由来の後遺症を呈す患者の復職に向けて
佐々木 信幸（聖マリアンナ医科大学 リハビリテーション医学講座）

第2会場 3F G303

- 8:40~10:10 シンポジウム 11
「エビデンス委員会」
座長：鈴木 正彦（東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座）
櫻井 孝（国立長寿医療研究センター）
- S11-1 ウリジル酸 Na の認知機能に及ぼす効果
石毛 和也（ヤマサ醤油株式会社 医薬・化成品事業部）
- S11-2 早期認知機能変化を予測可能な MRI 技術の研究開発
米田 哲也（熊本大学 大学院生命科学研究部 医療技術科学分野）
- S11-3 認知症予防を目指した多因子介入研究（J-MINT）から得られたエビデンス
櫻井 孝（国立長寿医療研究センター）
- S11-4 J-MINT PRIME Tamba 研究の結果と社会実装の実現に向けた取り組み
沖 侑大郎（神戸大学 大学院 保健学研究科）
- 10:20~11:50 口演 7 「認知症の多職種協働、専門職の躍動」
座長：涌谷 陽介（倉敷平成病院 脳神経内科・認知症疾患医療センター）
木村 成志（大分大学医学部脳神経内科学講座）
評価委員：中山 寛人（医療法人水の木会下関病院）
- O7-1 認知症ケアチーム活動を活用した退院支援の質の向上にむけた取り組み
金島 由佳^{1,5)}、大川内 真甫^{1,5)}、中畑 海咲^{1,5)}、中山 愛子²⁾、上原 和也²⁾、谷 英俊^{3,5)}、
安田 万里子^{3,5)}、河野 亮子²⁾、久徳 弓子^{4,5)}、三原 雅史^{4,5)}
1)川崎医科大学附属病院 患者診療支援センター、2)川崎医科大学附属病院 看護部、
3)川崎医科大学附属病院 臨床心理センター、4)川崎医科大学 神経内科学、
5)川崎医科大学附属病院 認知症疾患医療センター
- O7-2 回復期リハビリテーション病院における多職種連携による薬剤管理
五十嵐 真由美¹⁾、吉本 孝²⁾
1)医療法人社団 石鏡会 京都田辺記念病院、2)医療法人社団 石鏡会 京都田辺中央病院

- 07-3 急性期病院における認知症高齢者の HAD 予防に必要な多職種協働
—認知症ケアチームへのインタビュー調査から—
阿部 慈美¹⁾、濱吉 美穂¹⁾、内菌 真佐司²⁾、里村 洋子³⁾、杉田 顕好⁴⁾、登尾 弥生⁵⁾、松岡 千代⁶⁾、
松永 清美⁷⁾、安本 厚子¹⁾
1) 佛教大学 保健医療技術学部 看護学科、2) 兵庫医科大学病院、3) 宝塚第一病院、
4) 兵庫県立ひょうごこころの医療センター、5) 市立伊丹病院、6) 甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 看護学科、
7) 西宮協立脳神経外科病院
- 07-4 郵送調査による自記式認知症チェックリストを用いた
認知症の早期発見の取り組み～訪問看護師による訪問調査の活用と多職種連携～
杉山 美香、稲垣 宏樹、井藤 佳恵、粟田 圭一
東京都健康長寿医療センター研究所
- 07-5 認知症を心配する 60 代男性に対する多職種連携支援
～認知機能の改善に寄与した行動変容に関する検討～
吉武 亜紀¹⁾²⁾、南 照美³⁾、玉置 昭平⁴⁾、和田 健二⁵⁾
1) 川崎医科大学総合医療センター 患者診療支援センター、2) 川崎医科大学高齢者医療センター 患者診療支援センター、
3) 川崎医科大学高齢者医療センター 看護部、4) 川崎医科大学高齢者医療センター フレイルセンター、
5) 川崎医科大学 認知症学
- 07-6 医療・介護連携に基づく isCGM の地域システム構築
高橋 友美¹⁾、近藤 誠哉²⁾、神田 香代美¹⁾、小野 麻紀¹⁾、植田 聡³⁾、藤野 孝雄⁴⁾
1) 白杵市医師会立コスモス病院 看護部、2) 白杵市医師会立コスモス病院 糖尿病・内分泌内科、3) 植田内科クリニック、
4) 藤野循環器科内科医院
- 07-7 介護サービス利用の定着に困難さがみられた 90 代男性への
医療・介護の連携支援～在宅生活の継続を可能にした経験の共有～
横谷 弘子¹⁾、松岡 美保¹⁾、吉武 亜紀²⁾、和田 健二³⁾、羽井佐 実¹⁾
1) 川崎医科大学総合医療センター 在宅療養支援センター、2) 川崎医科大学総合医療センター 患者診療支援センター、
3) 川崎医科大学 認知症学
- 07-8 身体拘束に関する認識調査～多職種連携による身体拘束軽減の検討～
中山 愛子、上原 和也、谷 英俊、安田 万里子、金島 由佳、神野 俊克、久徳 弓子、
三原 雅史
川崎医科大学附属病院
- 07-9 多職種共同でせん妄予防～本人のできる能力を共有～
上野 真生¹⁾、高橋 鉄平²⁾、真田 康孝¹⁾、安高 拓弥³⁾、衛藤 健志³⁾、藤野 孝雄⁴⁾
1) 白杵市医師会立 コスモス病院 リハビリテーション部、2) 白杵市医師会立 コスモス病院 看護部、
3) 白杵市医師会立 コスモス病院 内科、4) 藤野循環器科内科医院

12:00～12:50

ランチョンセミナー 5

「嗅覚機能スクリーニングによる認知症の早期発見と予防」

座長：古橋 淳夫（揖保川病院）

- 1 これからの認知症早期発見と予防は嗅覚機能に着目すべき！
浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科認知症予防学講座）
- 2 認知症の早期診断における臭覚識別テスト有用性の検討
箱崎 幸也（メドック総合健診クリニック）

14:00~15:00 口演 11 「認知症の薬物療法、非薬物療法、レカネマブ導入へ向けた取り組み」
座長：和泉 唯信（徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床神経科学分野）
山本 泰司（神戸大学インクルーシブキャンパス&ヘルスケアセンター
保健管理部門）
評価委員：松原 悦朗（臼杵市医師会認知症先端医療学研究所/大分大学医学部）

O11-1 実臨床におけるドネペジル経皮吸収型貼付剤による
皮膚症状を主とした忍容性の検討

幡中 典子¹⁾、小西 吉裕²⁾、加藤 信介¹⁾、田畑 昌子¹⁾、東 靖人¹⁾
1)医療法人公仁会 姫路中央病院 神経内科、2)独立行政法人国立病院機構鳥取医療センター

O11-2 レケンビ治療非該当患者・家族への課題と展望

日和田 正俊、福田 隆浩、井手 芳彦、松尾 七美紀、岸川 真帆
社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院 認知症疾患医療センター

O11-3 認知症予防専門薬剤師としてのレカネマブ適正使用への介入

斎藤 剛志、遠藤 雄司
医療法人 辰星会 枳記念病院

O11-4 小規模病院におけるレカネマブ治療体制の構築

森木 章人¹⁾、内田 伸子²⁾、内田 泰史¹⁾、吉田 大輔³⁾、戸田 かおり⁴⁾、市村 節子⁴⁾、北村 小織⁴⁾、
山本 知須⁵⁾、水口 紀代美⁶⁾、柿本 純⁷⁾、西岡 東香⁸⁾、岡林 美由紀⁹⁾
1)もみのき病院 脳神経外科、2)もみのき病院 精神科、3)もみのき病院 放射線科、4)もみのき病院 看護部、
5)もみのき病院 検査科、6)もみのき病院 放射線技術科、7)もみのき病院 地域連携室、8)もみのき病院 薬剤科、
9)もみのき病院 リハビリテーション科

O11-5 レカネマブ治療体制におけるリハビリテーション部門の取り組み

岡林 美由紀¹⁾、西村 かおり¹⁾、石元 美知子¹⁾、光内 梨佐²⁾、森木 章人³⁾、内田 伸子⁴⁾、
内田 泰史³⁾
1)医療法人治久会 もみのき病院 リハビリテーション科、2)高知リハビリテーション専門職大学、
3)医療法人治久会 もみのき病院 脳神経外科、4)医療法人治久会 もみのき病院 精神科

O11-6 認知症患者に対するぬいぐるみ型デバイスを用いた効果的な回想法の実施

沼田 まな^{1,2)}、宮崎 敦子²⁾、清水 佑輔^{3,4)}、檜山 敦^{2,5)}
1)東京都立日比谷高等学校、2)東京大学 先端科学技術研究センター身体情報学分野、
3)東京大学 大学院 人文社会系研究科、4)日本学術振興会、5)一橋大学 大学院 ソーシャル・データサイエンス研究科

15:10~15:50 教育講演 5
「在宅医療と認知症 認知症を取り巻く今後の在宅療養の環境変化を考える」
座長：荒川 千晶（医療法人社団礼恵会 むすび葉クリニック渋谷）
演者：小野沢 滋（みその生活支援クリニック/北里大学病院 総合診療科）

16:00~16:40 教育講演 6
「認知機能の評価法」
座長：杉江 和馬（奈良県立医科大学 脳神経内科）
演者：和田 健二（川崎医科大学 認知症学）

16:50~17:30 教育講演 7
「認知症と胃ろう栄養—その適応を考える—」
座長：内海 久美子（砂川市立病院）
演者：丸山 道生（田無病院）

8:40~10:10 スポンサーシンポジウム

「日本脳サプリメント学会合同企画」

座長：阿部 康二（BTRアーツ銀座クリニック）

太田 康之（山形大学 医学部 内科学第三講座神経学分野）

1 プラズマローゲンの認知症予防効果

森原 隆太（岡山大学病院 脳神経内科）

2 Twendee X の最新の認知症予防効果

犬房 春彦（岐阜大学 科学研究基盤センター 共同研究講座 抗酸化研究部門）

3 ナトリードの認知機能予防効果

足立 弘明（産業医科大学 医学部 神経内科学講座）

4 高齢者の認知症予防における睡眠の重要性

木村 成志（大分大学医学部脳神経内科学講座）

5 歩行と認知症予防

太田 康之（山形大学 医学部 内科学第三講座神経学分野）

共催：第一工業製薬株式会社

10:20~11:50 口演8 「認知症の人と家族への支援、BPSD への対策」

座長：渡嘉敷 崇（国立病院機構沖繩病院 脳神経内科）

進藤 由美（地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター）

評価委員：木宮 高代（福山平成大学 看護学部）

08-1 認知症のある人の家族介護者を対象とした医療・介護サービスの利用による経済逼迫感と医療・介護サービスの利用控えの関係

竹本 与志人¹⁾、杉山 京²⁾、木村 亜紀子³⁾、桐野 匡史¹⁾

1)岡山県立大学、2)大阪公立大学大学院、3)兵庫医科大学病院

08-2 コロナ禍により閉じこもり状態となった高齢者に対する訪問リハビリテーション

森 純一¹⁾、野々下 有希¹⁾、森 雅史¹⁾、内田 泰史²⁾

1)医療法人 恕泉会 内田脳神経外科 リハビリテーション科、2)医療法人 恕泉会 内田脳神経外科

08-3 認知機能低下を有する高齢者の在宅介護における介護負担感とその要因

塩田 智^{1,2)}、絹川 薫²⁾、杉江 和馬¹⁾

1)奈良県立医科大学、2)宇陀市立病院

08-4 親族との関係が希薄な認知症患者に対する意思決定支援のあり方

平野 叶笑^{1,3)}、金島 由佳^{1,3)}、高橋 誉文^{1,3)}、久徳 弓子^{2,3)}、三原 雅史^{2,3)}

1)川崎医科大学附属病院 患者診療支援センター、2)川崎医科大学 神経内科学、

3)川崎医科大学附属病院 認知症疾患医療センター

08-5 急性期病院に入院中の認知症高齢者におけるドールセラピーの効果

澤味 友恵¹⁾、重歳 絵里¹⁾、林 由佳²⁾、出口 健太郎³⁾

1)岡山市立市民病院 看護部、2)山陽学園大学 看護学部看護学科、3)岡山市立市民病院 脳神経内科

08-6 超低床ベッド使用のメリット～身体拘束最小化に与える影響～

高橋 鉄平¹⁾、梶原 陽花¹⁾、上野 真生¹⁾、牧 俊之¹⁾、真田 康孝¹⁾、安東 直美¹⁾、安高 拓弥¹⁾、

衛藤 健志^{1,2)}、藤野 孝雄²⁾、木村 成志³⁾

1)白杵市医師会立コスモス病院、2)藤野循環器科内科医院、3)大分大学医学部 神経内科学講座

08-7 非薬物療法による BPSD へのアプローチ

—不安への対応で BPSD が落ち着いた一事例—

安信 陽菜、吉川 由起、涌谷 陽介

社会医療法人 全仁会 倉敷平成病院

- 08-8 アロマテラピーによる介護施設の認知症入居者の睡眠と BPSD、
介護者の負担軽減への効果
頭山 祥子、東藤 礼、進藤 祐治、中本 佳寿、田中 浩一、川邨 夫美子、稲川 仁美、
松本 光司、石田 規浩、縄野 朱李、渡邊 大雅、丸王 洋行
株式会社ライフケア・ビジョン
- 08-9 地域の通いの場の効果
～認知症が疑われるが、専門医・介護保険サービスに繋がらない事例から考える～
土田 仁美
富田浜福祉会 四日市市北地域包括支援センター
- 12:00～12:50 ランチョンセミナー 6
「精神科医の視点で考える「認知症予防」と「高齢者うつ病」」
座長：内門 大丈（医療法人社団彰耀会 メモリーケアクリニック湘南）
演者：笠貫 浩史（聖マリアンナ医科大学 神経精神科学教室/
順天堂東京江東高齢者医療センター メンタルクリニック）
共催：株式会社太陽生命少子高齢社会研究所
- 14:00～15:10 口演 12 「認知症予防における生活習慣病、リスク因子への取り組み」
座長：辻 正純（辻内科循環器科歯科クリニック）
石渡 明子（日本医科大学 脳神経内科）
評価委員：鶴飼 克行（総合上飯田第一病院）
- O12-1 認知症予防と生活習慣病
内田 泰史、兵等 千馬、武嶋 佑果
医療法人恕泉会 内田脳神経外科
- O12-2 地域在住高齢者における軽度認知障害と健康関心度の関連：和光コホート研究
村山 洋史¹⁾、横山 友里¹⁾、野藤 悠¹⁾、阿部 巧²⁾、千明 詩菜¹⁾、小川 将¹⁾、鈴木 宏幸¹⁾、
野中 久美子¹⁾
1) 東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加とヘルシーエイジング研究チーム、2) 明治大学
- O12-3 健常中高齢者における教育年数が脳糖代謝へ与える影響
浅原 有揮、石橋 賢士
東京都健康長寿医療センター 神経画像研究チーム
- O12-4 臼杵コホート研究『生体センサによる生活習慣と認知機能の縦断解析』
木村 成志¹⁾、藤野 孝雄²⁾、松原 悦朗¹⁾
1) 大分大学医学部神経内科、2) 藤野循環器内科医院
- O12-5 脳排出系と生活習慣因子の関連
～USUKI study における脳血管周囲腔とリストバンドデータの検討～
安高 拓弥¹⁾、木村 成志²⁾、松原 悦朗¹⁾
1) 臼杵市医師会立コスモス病院、2) 大分大学神経内科学講座
- O12-6 高齢者施設での認知症予防活動の取り組み
武嶋 佑果¹⁾、兵等 千馬²⁾、内田 泰史³⁾
1) 医療法人恕泉会 内田脳神経外科 検査科、2) 内田脳神経外科 リハビリテーション科、3) 内田脳神経外科 理事長
- O12-7 在宅高齢者の認知症予防行動促進に期待される集合的効力感の価値
内田 浩江¹⁾、原田 俊子²⁾
1) 大阪医科薬科大学 看護学部 看護学科、2) 畿央大学 健康科学部 看護医療学科

8:40~10:10 シンポジウム 12

「オレンジナースの集い」

座長：飯田 康江（医療法人ふらて会）

S12-1 認知症予防におけるオレンジナースの役割

安部 明夫（安部第一医院）

S12-2 「オレンジナースの集い」への思い

管谷 由紀子（医療法人社団翔洋会）

S12-3 「本人と家族の生き方支援」オレンジナースの役割と視点とは

高澤 留美子（日本の介護株式会社）

10:20~11:40 口演 9 「認知症のリハビリテーション、ケア、食事」

座長：眞野 智生（奈良県総合医療センター）

神谷 達司（神谷医院/日本医科大学大学院医学研究科神経内科学分野）

評価委員：林 博史（福島県立医科大学 保健科学部 作業療法学科）

O9-1 思い出の写真と ICT を活用した回想法プログラムは認知機能を改善させるか？

鶴木 恵子¹⁾、菊池 和美²⁾

1) 帝京平成大学 健康メディカル学部 心理学科、2) 帝京平成大学 健康メディカル学部 作業療法学科

O9-2 スタンディングリフトによる排泄が利用者に与える好影響について

岸上 幸司、山本 貴一

社会福祉法人ふるさと会

O9-3 関節可動域練習中に血管迷走神経反射性失神を生じた認知機能低下症例
—パルスオキシメーターを用いたリスクマネジメント—

西村 彰規

社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院

O9-4 コミュニケーション不良とされた患者に対する正確な病態把握と
統一したケアとリハビリテーションの効果

岡安 一樹¹⁾、福本 真弓¹⁾、藤本 宗平¹⁾、久徳 弓子²⁾

1) 一般財団法人 共愛会 芳野病院 リハビリテーション科、2) 川崎医科大学 神経内科学

O9-5 握力測定における神経系の鑑別スクリーニングの重要性

安藤 研介

岡山赤十字病院 リハビリテーション科

O9-6 認知症高齢者におけるドラム演奏前後の気分変化

宮崎 敦子¹⁾、奥山 卓¹⁾、森 隼人²⁾、佐藤 和久³⁾、檜山 敦⁴⁾、野内 類⁵⁾

1) 東京大学 先端科学技術研究センター 身体情報学分野、2) 有限会社 スーパーリハ、3) 株式会社 WARAKU、

4) 一橋大学 大学院 ソーシャル・データサイエンス研究科、5) 人間環境大学 総合心理学部

O9-7 「みんなの聴脳力[®]チェック」アプリを活用した語音弁別能の考察
—加齢性難聴者への対策—

峰村 直樹

デイサービスセンター長寿村

O9-8 認知機能低下における食事形態の検討

景山 貴央¹⁾、河崎 雄司²⁾、河本 記代子¹⁾、油谷 梨恵³⁾、長田 由紀子¹⁾

1) 安来第一病院 看護部、2) 安来第一病院 呼吸器内科、3) 安来第一病院 言語聴覚療法科

12:00~12:50 ランチョンセミナー7

「認知症に関するヘルスケアサービスの提供を通じて、
人として輝き続ける地域社会の実現に貢献」

座長：西野 憲史（医療法人ふらて会 西野病院）

- 1 認知症予防フレンド養成講座と介護セミナーによる
認知症予防の取り組みと今後の展開
児玉 直樹（新潟医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線学科）
- 2 認知症に関するヘルスケアサービスの提供を通じて、
人として輝き続ける地域社会の実現に貢献
鬼頭 哲也（三井住友海上あいおい生命保険株式会社 デジタルイノベーション部
ヘルスケア推進グループ）

共催：三井住友海上あいおい生命保険株式会社

14:00~15:00 口演 13 「認知症のスクリーニングや評価に対する工夫」

座長：瀧澤 俊也（神奈川県リハビリテーション病院）

高澤 留美子（日本の介護株式会社）

評価委員：浅野 次義（あさの金町クリニック）

- O13-1 神経心理学的検査に所要時間を加味した評価
片山 雅史、近藤 こころ、森 菜々望、永尾 巴佳、廣瀬 舞、森松 夏菜
純真学園大学 保健医療学部 検査科学科
- O13-2 もの忘れ相談プログラム実施に対する課題と提言—合理的配慮の提供義務化から—
峰村 直樹
デイサービスセンター長寿村
- O13-3 健診における認知症予防の取り組みについて
矢野 史朗¹⁾、佐藤 千春¹⁾、渡邊 直子¹⁾、吉田 敦子¹⁾、新名 絵里香¹⁾、阿南 章子¹⁾、藤野 孝雄²⁾
1)白杵市医師会立市民健康管理センター、2)藤野循環器科内科医院
- O13-4 かかりつけ医外来での認知機能スクリーニング
藤野 孝雄¹⁾、木村 成志²⁾、安高 拓弥³⁾、松原 悦朗¹⁾、古賀 正³⁾
1)藤野循環器科内科医院、2)大分大学 医学部 脳神経内科、3)白杵市医師会立コスモス病院 神経内科、
4)白杵市医師会 認知症先端医療学研究所、5)(株) Clinical Study Support兼聖マリアンナ医科大学客員教授
- O13-5 脳ドックが認知症の早期発見に果たす役割
高木 清¹⁾、高木 良介²⁾、厚地 正子³⁾、厚地 正道⁴⁾
1)我孫子聖仁会病院 正常圧水頭症センター、2)横浜市立大学附属市民総合医療センター 脳神経外科、
3)あつち葛飾クリニック、4)厚地脳神経外科病院
- O13-6 指タッピングによるフレイル検出の試み
黒岩 祐樹¹⁾、高橋 真悟¹⁾、高橋 大志¹⁾、櫻井 典子²⁾、児玉 直樹²⁾
1)高崎健康福祉大学 健康福祉学部 医療情報学科、2)新潟医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線学科

第5会場 3F G314+G315

8:40~10:10 シンポジウム 13

「臨床検査技師が認知症予防活動に関する有用性」

座長：高村 好実（一般社団法人 日本予防医療推進機構）

松熊 美千代（三井記念病院 臨床検査部）

- S13-1 認知症予防専門臨床検査技師で活かす地域や自治体での事業活動
高村 好実（一般社団法人 日本予防医療推進機構）

- S13-2 認知症予防に携わる臨床検査技師としての今までとこれから
是枝 真由美 (社会福祉法人 三篠会 堺市立重症心身障害者 (児) 支援センター
ベルデさかい 検査科)
- S13-3 じゅんりんぎ大学校認知症講座と大学院の学びから気づいた臨床検査技師の有用性
江成 典子 (桜美林大学大学院 国際学術研究科)

14:00~15:00 口演 14 「認知症の施策、社会参加」

- 座長：有澤 賢二 (一般社団法人 北海道薬剤師会)
國枝 洋太 (順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター
リハビリテーション科)
- 評価委員：中道 淳子 (石川県立看護大学)

- O14-1 「定年後の高齢男性のやりがい・社会参加をどう進めるか」を取り組んで
伊藤 米美¹⁾、右京 幸雄¹⁾、藪田 恵¹⁾、プラトリー ミチコ²⁾、三木 美恵子³⁾、新原 耕治⁴⁾、
川尻 紀子⁵⁾、丸尾 智実⁶⁾
1) 認定NPO法人 認知症予防ネット神戸、2) 無償ボランティア団体 柳鶴会、3) 東神戸医療互助組合、
4) 兵庫県高齢者生活協同組合、5) 灘区地域自治会、6) 神戸市看護大学
- O14-2 市町村の人口規模が認知症予防の取組や協力機関の多様性に及ぼす影響
進藤 由美^{1,2)}、堀部 賢太郎¹⁾、鷺見 幸彦^{1,3)}
1) 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター、
2) 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 健康長寿医療研修センター、
3) 社会福祉法人仁至会 認知症介護研究・研修大府センター
- O14-3 認知症高齢者の外出行動の実態 (NCGG- UniCo) (第1報)：外出場所の特徴
小松 亜弥音¹⁾、中川 威^{1,2)}、野口 泰司¹⁾、金 雪瑩¹⁾、岡橋 さやか¹⁾、進藤 由美^{1,3)}、斎藤 民¹⁾
1) 国立長寿医療研究センター、2) 大阪大学大学院人間科学研究科、3) 東京都健康長寿医療センター
- O14-4 当院認知症疾患医療センターの地域における役割について
松山 賢一、森 美佳、元木 郁代、荒賀 哲也、杉田 大輔、山下 麻希、吉田 昇生、
佐堀 暢也、杉本 竜平、宮軒 将
実風会 新生病院
- O14-5 認知症初期集中支援チームの介入で短時間就労に挑戦した一事例
～通所介護事業所との連携を通して～
真田 康孝¹⁾、本田 祐一¹⁾、安藤 真次¹⁾、山下 美和²⁾、竹村 仁³⁾、藤野 孝雄⁴⁾
1) 白杵市医師会立コスモス病院 リハビリテーション部、2) 白杵市医師会 地域包括支援センターコスモス、
3) 白杵市医師会立コスモス病院 事務部、4) 藤野循環器科内科医院
- O14-6 高齢者サロンを分析する～また来たくなる活気あるサロンとは～
飯田 聖子、鷺尾 佑奈、小出 千栄、美浦 麗奈
名古屋市 名東区 南部 いきいき (包括支援) センター

第6会場 3F G316+G317

8:40~10:10 シンポジウム 14

「認知症予防における地域連携・地域活動の実践」

- 座長：荒川 千晶 (医療法人社団礼恵会 むすび葉クリニック渋谷)
國枝 洋太 (順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター
リハビリテーション科)

- S14-1 生き生き脳活倶楽部 (認知症予防教室) の地域での取り組み
本多 慶吉 (NPO 生き生き元気塾)
- S14-2 地域における認知症予防事業の活動と高齢者施設の在り方について
瀬藤 尚文 (城東ふれあいセンター (社会福祉法人奉優会))

- S14-3 渋谷区における認知症地域支援推進員の活動紹介
村瀬 真弓（渋谷区ケアコミュニティ・原宿の丘地域包括支援センター）
- S14-4 葛飾区における「もの忘れ予防健診」並びに「もの忘れ予防」普及啓発活動について
稲葉 敏（医療法人社団 穂光会 いなば内科クリニック）

ポスター会場 3F G320

10:20~11:20 ポスター 3 「認知症予防活動」

座長：辻 美帆（医療法人社団 翔洋会）
評価委員：福田 敏秀（新潟医療福祉大学 心理・福祉学部 社会福祉学科）

P3-1 わが国におけるコミュニティ音楽療法の研究動向と課題

原田 俊子¹⁾、内田 浩江²⁾
1) 畿央大学健康科学部看護医療学科、2) 大阪医科薬科大学看護学部看護学科

P3-2 食への興味関心の拡大から生活変化を促す認知症予防教室
～日常生活の中での継続につながる認知症予防への取り組み～

稲橋 秀樹、石川 英樹、高澤 優美、加藤 貴大、小林 柚香、細井 健吾、霍田 沙織
医療法人社団心の絆 蓮田よつば病院

P3-3 会話支援手法共想法のテーマ設定の特徴とその効果について：
自由会話とテーマに沿った会話の相違点に関する考察

永田 映子^{1,2,3)}、大武 美保子^{2,3)}
1) 介護老人保健施設マカベシルバートピア、2) NPO法人 ほのぼの研究所、3) 特定国立研究開発法人 理化学研究所

P3-4 高齢者の総合的な認知症予防を目的とする「街歩き共想法」の実践的検討

根岸 勝壽^{1,2)}、田口 良江^{1,2)}、永田 映子^{1,2)}、清水 きよみ^{1,2)}、松村 光輝^{1,2)}、長久 秀子^{1,2)}、
魚谷 茜^{1,2)}、鈴木 晃^{1,2)}、吉田 美枝子^{1,2)}、大武 美保子^{1,2)}
1) NPO法人 ほのぼの研究所、2) 特定国立研究開発法人 理化学研究所

P3-5 高齢者の認知機能低下を防ぐために当事者の声を反映して開発した
認知症予防会話手法共想法の遠隔アプリ

長久 秀子^{1,2)}、魚谷 茜^{1,2)}、田口 良江^{1,2)}、根岸 勝壽^{1,2)}、永田 映子^{1,2)}、清水 きよみ^{1,2)}、
松村 光輝^{1,2)}、鈴木 晃^{1,2)}、吉田 美枝子^{1,2)}、大武 美保子^{1,2)}
1) NPO法人ほのぼの研究所、2) 国立研究開発法人理化学研究所

P3-6 認知症予防の当事者研究拠点ほのぼの研究所における共想法の実践研究

大武 美保子^{1,2)}、田口 良江^{1,2)}、根岸 勝壽^{1,2)}、永田 映子^{1,2)}、清水 きよみ^{1,2)}、松村 光輝^{1,2)}、
長久 秀子^{1,2)}、魚谷 茜^{1,2)}、鈴木 晃^{1,2)}、吉田 美枝子^{1,2)}
1) 特定国立研究開発法人 理化学研究所、2) NPO法人 ほのぼの研究所

10:20~11:20 ポスター 4 「認知症の評価法、検査」

座長：小林 良太（山形大学医学部精神医学講座）
評価委員：河月 稔（鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座）

P4-1 当院の補聴器診療における認知機能評価検査介入の有用性の検討

阿部 朋子¹⁾、佐藤 輝幸²⁾、太田 伸男²⁾、中島 博行¹⁾、高橋 伸一郎¹⁾
1) 東北医科薬科大学病院 検査部、2) 東北医科薬科大学病院 耳鼻咽喉科

P4-2 神経心理学的検査が難航した一例

樋口 雄哉¹⁾、犬丸 絵美¹⁾、仲吉 美沙子²⁾、竹下 明子²⁾
1) 飯塚病院 中央検査部、2) 飯塚病院 臨床心理室

P4-3 健常高齢者における2年間のMMSE-J得点変化と下位検査の関連：
IRIDE Cohort Study

山下 真里、山城 大地、小川 将、鈴木 宏幸、藤原 佳典、稲垣 宏樹、大田 崇央、
笹井 浩行、河合 恒、大淵 修一、粟田 主一、鳥羽 研二、IRIDE Cohort Study investigators
東京都健康長寿医療センター研究所

P4-4 認知症における比喩理解と認知機能の関係—AD と DLB との比較—

藤本 憲正¹⁾、中村 光²⁾、涌谷 陽介³⁾

1)倉敷平成病院 言語聴覚科、2)岡山県立大学大学院 保健福祉学研究科、3)倉敷平成病院 脳神経内科

P4-5 スヌーズレンにおける脳波変化

林 泰弘¹⁾、岡田 一範¹⁾、中鉢 雅大¹⁾、清本 憲太²⁾、新岡 美樹³⁾、八田 達夫³⁾

1)日本医療大学 保健医療学部 臨床検査学科、

2)日本医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻、3)特別養護老人ホーム ノテふるさと

P4-6 嗅覚、認知機能検査データと脳灰白質容積の関連性検討

佐藤 守一¹⁾、今枝 孝夫¹⁾、麦倉 俊司²⁾、森 菜緒子²⁾、高梨 昌樹¹⁾、早川 和美¹⁾、長神 風二²⁾、
布施 昇男²⁾、荻島 創一²⁾、中村 智洋²⁾、齊藤 智²⁾、栗山 進一²⁾、寶澤 篤²⁾

1)(株)豊田中央研究所 バイオインスパイアードシステム研究領域、2)東北大学 東北メディカル・メガバンク機構

14:00~15:00 ポスター5 「認知症のケア、治療、リハビリテーション、介護者への支援」

座 長：飯田 康江（医療法人ふらて会）

評価委員：川瀬 敦士（川瀬神経内科クリニック）

P5-1 介護老人保健施設に入所中の認知症高齢者女性を対象としたマニキュア介入による
BPSD 症状および QOL、介護負担度の変化坂本 将徳^{1,2)}、荒木 ゆかり²⁾、佐藤 三矢^{2,3)}

1)広島都市学園大学 健康科学部 リハビリテーション学科、2)日本保険福祉ネイリスト協会、

3)東京通信大学 人間福祉学部

P5-2 通所リハにおける有酸素運動と知的活動プログラムの継続効果について
—コロナ禍での重度化防止と生活空間との関連性について—小林 泰喜、原 千明、松崎 真也、古屋 直彦、星野 莉奈子、藤江 小百合、住田 菜月、
金坂 隼汰、宍戸 満

社会医療法人昌林会介護老人保健施設昌寿苑

P5-3 認知症ケアチームとの多職種カンファレンスにより身体拘束軽減に繋がった一例

出口 美穂¹⁾、小松 絵美¹⁾、片山 志穂¹⁾、久徳 弓子²⁾

1)川崎医科大学附属病院 看護部 脳神経センター病棟、2)川崎医科大学附属病院 脳神経内科学

P5-4 病院スタッフ発のアートプログラム；スタッフの持つ認知症ケアと
病院のイメージを AI で画像化し、共に考える試み守山 正樹¹⁾、西野 憲史²⁾

1)NPOウェルビーイング附属研究所、2)医療法人ふらて会 西野病院

P5-5 認知症の家族介護者の介護ストレスケアを目的とした
オンライン認知行動療法プログラム田島 美幸¹⁾、原 祐子¹⁾、川西 智也²⁾

1)慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室、2)鳴門教育大学 学校教育研究科 人間教育専攻 心理臨床コース

P5-6 認知症の人とその家族への看護について～調理実習からの学び～

木宮 高代¹⁾、荒井 葉子¹⁾、池田 彩加¹⁾、前田 純佳²⁾

1)福山平成大学 看護学部 看護学科、2)福山平成大学大学院看護学研究科修士課程

14:00~15:00 ポスター6 「地域、施設における認知症予防に対する取り組み」

座 長：西野 恵子（社会福祉法人ふらて福祉会）

評価委員：八森 淳（医療法人MoLead つながるクリニック）

P6-1 認知症疾患医療センターにおける診断後等支援の取組み
～脳活っ塾の支援のカたち～川北 澄枝¹⁾、近藤 美妃¹⁾、山崎 京子¹⁾、北嶋 絵里¹⁾、松田 佳奈²⁾、石田 美樹³⁾、梅澤 秀河⁴⁾、
平田 佳寛^{1,3)}、梶川 博之³⁾、新堂 晃大^{1,2,3,5)}

1)三重大学医学部附属病院 基幹型認知症疾患医療センター、2)三重大学大学院 医学系研究科 認知症医療学講座、

3)三重大学医学部附属病院 認知症センター、4)三重大学医学部医学科、5)三重大学大学院 医学系研究科 神経病態内科学

P6-2 当院の認知症カフェ関連の活動

中山 寛人

医療法人水の木会 下関病院

- P6-3 県民フォーラムに参加して（認定認知症領域検査技師として）
中村 和幸¹⁾、小寺 恭子²⁾、松尾 祥子²⁾、福田 雅子³⁾、西野 真佐美³⁾
1) 社会医療法人社団陽正会 神石高原町立病院 臨床検査室、2) 社会医療法人社団陽正会 寺岡記念病院 臨床検査室、
3) 医療法人翠清会 翠清会梶川病院 臨床検査部
- P6-4 高齢者の認知症発症率の減少に社会参加は関連しているか
—日本老年学的評価研究 2013–2016、2016–2019 コホート間比較研究
藤原 聡子^{1,2)}、渡邊 良太³⁾、辻 大士⁴⁾、宮國 康弘³⁾、近藤 克則^{2,5)}
1) 東京都健康長寿医療センター研究所、2) 千葉大学、3) 日本福祉大学、4) 筑波大学、5) 医療経済研究機構
- P6-5 もの忘れ外来初診者におけるレカネマブ投与基準適合者の検討
涌谷 陽介、高尾 芳樹、菱川 望、松本 菜見子、上田 恵子、菱川 祐歌
倉敷平成病院 脳神経内科 認知症疾患医療センター
- P6-6 指タッピングおよび簡易ニューロフィードバックによる高齢者の手指機能への影響
高橋 真悟¹⁾、黒岩 祐樹¹⁾、高橋 大志¹⁾、櫻井 典子²⁾、児玉 直樹²⁾
1) 高崎健康福祉大学 健康福祉学部 医療情報学科、2) 新潟医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線学科

9:10~10:00 特別講演3

「リハビリテーション医療で認知症を防ぐ」

座長：安保 雅博（東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座）

演者：角田 亘（国際医療福祉大学医学部リハビリテーション医学教室）

10:10~11:40 シンポジウム15

「日本正常圧水頭症学会合同：

認知症予防における特発性正常圧水頭症（ハキム病）の重要性」

座長：數井 裕光（高知大学 医学部 神経精神科学講座）

厚地 正子（あつち葛飾クリニック）

S15-1 特発性正常圧水頭症（ハキム病）の疫学と診断のポイント

伊関 千書（東北大学大学院 高次機能障害学/
山形大学医学部 内科学第三講座神経学分野）

S15-2 特発性正常圧水頭症の治療のポイント—LP シャント術の実際—

鮫島 直之（国家公務員共済組合連合会 東京共済病院 脳神経外科）

S15-3 特発性正常圧水頭症のリハビリテーション・介護について

厚地 正道（医療法人 慈風会 厚地脳神経外科病院）

S15-4 特発性正常圧水頭症の啓発と診療連携

數井 裕光（高知大学 医学部 神経精神科学講座）

12:10~13:00 ランチョンセミナー8

「私がアリドネパッチを選ぶ理由」

座長：鈴木 正彦（東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座）

演者：石崎 賢一（医療法人社団 養生館 青葉病院）

共催：興和株式会社

13:30~16:00

市民公開講座

「人として輝き続ける社会の実現を目指して」

開会挨拶 浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科認知症予防学講座）

基調講演 司会：鈴木 正彦（東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座）
演者：浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科認知症予防学講座）

特別講演 司会：西野 憲史（医療法人ふらて会 西野病院）
演者：徳光 和夫（フリーアナウンサー/日本認知症予防学会 認知症
予防大使）

来賓挨拶 黒岩 祐治（神奈川県知事）

座談会 司会：西野 憲史（医療法人ふらて会 西野病院）
パネリスト：黒岩 祐治（神奈川県知事）
徳光 和夫（フリーアナウンサー/日本認知症予防学会 認知症
予防大使）
白井 貴子（シンガーソングライター/日本認知症予防学会 ス
ペシャルアンバサダー）
浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科認知症予防学講座）

後援：神奈川県

第2会場 3F G303

12:10~13:00

ランチョンセミナー9

「脳機能を支える栄養素、ウリジル酸 Na の機能性」

座長：浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科認知症予防学講座）

演者：石毛 和也（ヤマサ醤油株式会社 医薬・化成品事業部）

共催：ヤマサ醤油株式会社